

第4回 稲築中学校区義務教育学校開校準備委員会 会議録

1. 審議会等の名称 第4回 稲築中学校区義務教育学校開校準備委員会
2. 開催日時 令和3年10月7日（木）午後7時00分から午後8時00分まで
3. 開催場所 嘉麻市役所5階 会議室A
4. 公開又は非公開の別 公開
5. 非公開の理由（会議を非公開とした場合のみ）
6. 出席者
 - (1) 委員
会長 山下剛
副会長 荒川孝子
委員 秋丸健兒、奥田早苗、平岡真由美、大力智司、富崎静江、平井由子、永富靖人
伊東新治、北富真治
欠席委員 塩川智津子
 - (2) 事務局
教育総務課長 赤坂 晋、教育企画係長 山本匡貴、教育企画係 山口陽子
学校教育課指導主事 近藤聖一
7. 傍聴人数（会議を公開した場合のみ） 0人
8. 議題及び協議の内容

【議題】

- 1 義務教育学校名称の決定について
- 2 校章について
- 3 校歌について
- 4 その他

【審議の内容】

- 1 義務教育学校名称の決定について
○義務教育学校名称の決定について、レジュメに沿って説明を行った。（事務局）
- 2 校章について
○校章について、資料に沿って説明を行った。（事務局）
次のような意見が出た。（委員）
○公募した場合、選定作品に対して報酬等は考えているのか。
→選定作品の作成者に対して報酬等は考えていない。以前、校章の公募を実施した嘉穂小学校の校章選定の事例では、開校式で選定作品の作成者の表彰を行った程度。

- デザインの著作権問題について、オリンピックデザインのように決定後に発覚することもあるのでは。未然防止の手立てとして何か考えているのか。
→デザイン全てを管理しているところが無く、なかなか難しい。
- 校章の募集要項（案）では、デザイン内容は自由になっているが、歴史や地域性などメッセージ性のあるテーマで縛ってはどうか。
- デザイン内容については、条件・制約を付けずに自由の方がいいと思う。描く人の思いはデザインの中や説明文に出てくると思う。作品選定段階で絞っていけば良いと思う。
- 中学校の美術部に募集案内をしてほしい。
- 志耕館高等学校や嘉穂特別支援学校などにも募集案内をしてほしい。
- 校章については、提案のとおり公募を行うこととする。
- 校章の募集デザインの内容については、制約を設けず自由なものとする。

3 校歌について

- 校歌について、資料に沿って説明を行った。（事務局）
次のような意見が出た。（委員）
- 現行の校歌が無くなってしまふことはもったいないように感じる。
- 小学校校歌も中学校校歌も両方残したい。どっちとも選べない。
- 卒業しても校歌は歌い続けている。懐かしく、思い出がたくさん。校歌を残したい。
- 小中の同窓会で歌う校歌は、同学年の集まりがほとんどだと思ふ。それぞれの年代の校歌を歌い続けていけば良いと思ふ。
- 保護者、地元の人達は校歌を残して欲しいと思ふのが大半の意見だと思ふ。でも、子ども達がどう思っているのかは分からない。
- 新しく学校が変わり、今の小学校低学年から中学生まで同じ校歌を歌うとなると、現行の中学校校歌の早いテンポや間奏が短く歌い続けなければならない点で、低学年の子がついていけるか心配。新しい校歌を作ったほうが良い。
- 子ども達は、難しい曲だとしても覚えられるから運用面での問題だと思ふ。
- 新しい学校に入る子ども達にとって、全く新しい校歌で、新しい歴史を作っていくことも大事なのかなと思ふ。
- 現行校歌の歌詞は特に変更をかけなければならないところはない。第1校歌、第2校歌という形で残していけるのなら地域の方も卒業生も同じフレーズで校歌が伝えられていけて良いと思ふ。
- 現行の校歌を使うとなると、小学生が中学校校歌を練習する必要がある。練習時に例えば中学生が小学生に歌唱指導を行う等、小中合同の教育活動をすることもできる。
- 第1校歌・第2校歌とした場合、どう使っていくのか。
- 義務教育学校の構成が4-3-2制になることから、行事も見直しを行う。行事毎に使用校歌を組みかえることもできると思っている。
- 現行の校歌2つを残しつつ、愛唱歌的なものを作ったらどうか。
- 校歌については、第5回会議での継続審議を行う。

4 その他

- その他について、資料に沿って説明を行った。（事務局）

9. 配布資料

(1) レジユメ

(2) 第4回稲築中学校区義務教育学校開校準備委員会資料